

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010340

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町内河川小工事事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	河川の応急補修		#N/A	
事業目標	適切な補修	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○町内河川の応急的な補修等工事	護岸補修外 1式	護岸補修外 1式	護岸補修外 1式	護岸補修外 1式	護岸補修外 1式	
	事業費(千円)	10,600	1,800	2,000	2,100	2,300	2,400
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,600	1,800	2,000	2,100	2,300	2,400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	13,744	1,764	1,999	2,035	5,773	2,173
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	13,744	1,764	1,999	2,035	5,773	2,173	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 護岸補修外 1式 (オオムシベツ川、上沢木無名川、 ホソコツナイ川)	(実施内容等) 護岸補修外 1式 (元稲府川、御西川)	(実施内容等) 護岸補修外 1式 (元沢木川、大川、元稲府川)	(実施内容等) 護岸補修外 1式 (元沢木川、上雄武無名川、 元稲府川)	(実施内容等) 護岸補修外 1式 (元稲府川、元沢木川、 音稲府川)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 適切な補修	適切な補修	適切な補修	適切な補修	適切な補修	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 98%	100%	97%	251%	91%	
	全体達成率 17%	36%	55%	109%	130%		
	備考欄						

事業名	町内河川小工事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	補修河川数
【抱える課題やニーズは】	河川未改修による災害の拡大	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内河川の応急補修等による現況復元	① 補修河川数/補修河川数	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	災害からの未然防止		目標値 3 河川
			実績値 3 河川
			達成度 100.0 %
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間による工事に実施	入札により民間業者に工事を発注し、元稲府川について護岸、元沢木川については土砂除去、音稲府川については、侵食された河岸の復旧を実施した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内河川の応急的な工事の実施や、事前に河川整備を実施することで、決壊等の被害を未然に防ぐことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり		<input type="checkbox"/> 全部	
		<input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	応急的な工事の実施や、事前に河川整備を実施することで、決壊等の被害を未然に防ぐことができた。
有効/概ね有効/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
		<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
		<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	決壊等の被害を未然に防止したことは、事業費の抑制となり、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり		<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
		<input type="checkbox"/> 人員削減	
		<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
		<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町内河川の応急的な工事により、災害を未然に防止できたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない		<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
		<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
災害を未然に防止するため、応急的な補修等の工事ができることから、今後も必要な事業であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
災害を未然に防止するため、応急的な補修等の工事に対応することは、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止